



福祉用具について

～介護の負担軽減のためのポイント～

リハビリ科 作業療法士 羽部 修吾



福祉用具と聞くと、あまり馴染みの無いもののように思われる方が多いのではないのでしょうか。しかし、実は、私たちの生活の中でも福祉用具を見かける場面は意外と多いのです。

福祉用具とは、低下した機能・能力を補い、自立した生活を送れるよう手助けするための道具を指し、例えばお年寄りが外を出歩く際に使っている押し車や杖も歩行補助具という福祉用具の一種です。病院や公共施設で見かける車椅子や点字ブロックなども、体にしよう害のある方の生活を補助する福祉用具です。

医療現場や介護現場では、車いすやポータブルトイレ、福祉用ベッドなど様々な福祉用具が活用されており、要

介護者の生活をサポートしている半面、介護者に負担がかかるケースがたびたび発生しています。

介護経験者の多くが腰痛を経験しており、移乗(ベッドから車椅子などへの乗り移り)やベッド上での体位変換、入浴などの介助が負担となっていますが、福祉用具には介護負担軽減に配慮したものが数多くあります。(写真はスライディングボードとスライディングシート)

適切な道具の選択・使用は介助者の負担軽減だけでなく、介助される側の苦痛軽減につながります。介助する側・される側双方にとっての快適なケアを実現する福祉用具について、少しでも興味を持っていただければ幸いです。



スライディングシート

ベッド上で横になった状態で体の位置を直したいときに使用します。滑りの良いシートなので、介助側の腰への負担軽減ができ、介助される側は背中への摩擦が少なく、褥瘡(とこずれ)を予防できます。



シートの上で体を滑らせ移動することで、頭を枕まで移動する負担を軽減。



使用しなかった場合・・・

体の位置を直すのに、体を抱えて移動させるため、介助側の腰の負担が大きい。



スライディングボード

足の力が弱く、移乗の介助量が多い方の移乗に使用する福祉用具です。抱え上げずに移乗できるため腰への負担を軽減できます。



ベッドから車イスへボードを滑るように移動することによって負担を軽減。



使用しなかった場合・・・

スライディングボードを使用しない場合は抱え上げて移乗するため、腰への負担が大きい。